

授業科目名	国際保健・看護Ⅲ			担当教員	小川 里美、宇都宮 真由子	
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	90 (2)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	自ら企画した研修を通して国内外の健康問題を多角的に探究し、保健医療、看護の役割・課題について考察する。					
到達目標	1. 知的興味や関心に基づき、研修で取り組むテーマを明確にできる。 2. 研修目標を設定し、その達成に向けた具体的な計画を立案できる。 3. 研修を遂行するために必要な関係機関との交渉ができる。 4. 研修計画に基づいた実践ができる。 5. 研修成果をまとめ・発表し、レポートとして記述できる。 6. 自己の研修目標を適切に評価できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は「看護の統合」に位置づけられ、国際保健・看護Ⅰ・Ⅱの学びを発展させる。 本科目は、国内外の健康や看護の課題・ニーズを把握し解決策を考えることで〈問題解決力〉、〈看護の専門性を探究する力〉を養う。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
				○	◎	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	コースオリエンテーション 1) 研修テーマの決定 2) 研修目標の設定、研修計画について	講義	(復習) 研修テーマと研修計画の概要を考える	120 分	小川 宇都宮	
2	研修計画を立案し、研修内容を決める	演習 (AL)	(予習) 研修内容に応じて必要な事項を調べる	120 分	小川 宇都宮	
3	学内研修 1. 研修先の決定 ・ 現地での研修は、原則として5日間以上 10 日間以内で行う ・ 教員と協議の上、研修先を決定し、先方と交渉する 2. 事前学習（個人・グループ） ・ 研修内容から調査項目を挙げ、文献等を活用し、必要な情報をまとめる	演習 (AL)	(予習) 研修内容に応じて必要な事項を調べ、まとめる	120 分	小川 宇都宮	
4				120 分		
5				120 分		
6				120 分		
7				120 分		
8				120 分		
9				120 分		
10 ～ 40	現地研修 ・ 研修計画に基づき、実施する			演習 (AL)	小川 宇都宮	

41	研修成果をまとめる	演習 (GW)	(復習) 研修成果をまとめ、発表資料を作成する	120 分	小川 宇都宮
42					
43 ～ 45	研修成果の発表・フィードバック・ まとめ	演習 (発表)	自己の研修評価を行う 文献を活用し、課題レポートをまとめる	120 分	小川 宇都宮
先行履修 科目					
テキスト		特に指定しない			
参考文献		国際保健・看護 I に挙げている文献には、目を通す。研修内容に必要な文献を検索し読む。			
評価方法		研修計画書 (30%) 研修への取り組み姿勢 (20%) 研修目標の達成度 (30%)：学生各自が自己の研修目標に沿って評価表を作成し評価する 課題レポート (20%)			
教員等の 実務経験		赤十字や JICA での国際活動の経験のある教員が担当します。			
メッセージ		本科目の履修には、国際コースを選択していることが望ましいです。 また、本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ」を単位修得していることが望ましいです。 本科目では、興味・関心のある国内外の健康・保健医療・看護の課題を見出し、自分で研 修を企画・立案し、実践し、将来のキャリアに繋げてほしいと考えています。 研修には相当な準備と事前学習が必要です。			